

CASBEE-建築(新築)2016年版
 (仮称)京都製作所 社員寮 パート2

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階					
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質							2.4
Q1 室内環境			0.40				2.8
1 音環境		3.0	0.15	2.9	1.00		2.9
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.50	3.0	0.50		
1.2 遮音		3.0	0.50	2.8	0.50		
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	2.0	0.20		
1.3 吸音		3.0	-	3.0	-		
2 温熱環境		3.0	0.35	3.0	1.00		3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50		
1 室温		3.0	0.63	3.0	0.63		
2 外皮性能		3.0	0.38	3.0	0.38		
3 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-		
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20		
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30		
3 光・視環境		2.0	0.25	2.5	1.00		2.3
3.1 屋光利用		1.8	0.30	1.4	0.30		
1 屋光率		1.0	0.60	1.0	0.50		
2 方位別開口	東	-	-	1.0	0.30		
3 屋光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策		1.0	0.30	3.0	0.30		
1 屋光制御		1.0	1.00	3.0	1.00		
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15		
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気質環境		3.0	0.25	3.0	1.00		3.0
4.1 発生源対策		3.0	0.60	3.0	0.63		
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	1.00		
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38		
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理		-	-	-	-		
1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-		
2 喫煙の制御		3.0	-	-	-		
Q2 サービス性能			0.30	-			2.6
1 機能性		3.0	0.40	2.4	1.00		2.6
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	2.0	0.60		
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	2.0	1.00		
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.0	0.40		
1 広さ感・景観		3.0	-	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-		
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50		
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性		2.6	0.30	-	-		2.6
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性		1.2	0.20	-	-		
1 空調・換気設備		1.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-		
3 電気設備		1.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法		1.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備		1.0	0.20	-	-		

3 対応性・更新性			2.6	0.30	2.5	1.00	2.5
3.1 空間のゆとり					3.0		0.50
1 階高のゆとり			3.0	-	3.0		0.60
2 空間の形状・自由さ			3.0	-	3.0		0.40
3.2 荷重のゆとり			2.0	-	2.0		0.50
3.3 設備の更新性			2.6	1.00			-
1 空調配管の更新性			3.0	0.20			-
2 給排水管の更新性			3.0	0.20			-
3 電気配線の更新性			3.0	0.10			-
4 通信配線の更新性			3.0	0.10			-
5 設備機器の更新性			1.0	0.20			-
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20			-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-		1.8
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30			1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			1.0	0.30			1.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			1.0	0.50			-
3.2 敷地内温熱環境の向上			1.0	0.50			-
LR 建築物の環境負荷低減性							3.0
LR1 エネルギー			-	0.40	-		3.9
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20			3.0
2 自然エネルギー利用			2.0	0.10			2.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.76	5.0	0.50			5.0
4 効率的運用			3.0	0.20			3.0
集合住宅以外の評価							
4.1 モニタリング			3.0	-			-
4.2 運用管理体制			3.0	-			-
集合住宅の評価							
4.1 モニタリング			3.0	1.00			-
4.2 運用管理体制			3.0	0.50			-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-		2.2
1 水資源保護			2.2	0.20			2.2
1.1 節水			1.0	0.40			-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			-
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70			-
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30			-
2 非再生性資源の使用量削減			2.2	0.60			2.2
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.13			-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.25			-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.25			-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.25			-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.13			-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			-	-			-
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.3	0.20			2.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30			-
3.2 フロン・ハロンの回避			2.0	0.70			-
1 消火剤			-	-			-
2 発泡剤(断熱材等)			2.0	1.00			-
3 冷媒			-	-			-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-		2.5
1 地球温暖化への配慮			3.0	0.33			3.0
2 地域環境への配慮			2.5	0.33			2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25			-
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50			-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25			-
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25			-
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25			-
3 交通負荷抑制		敷地内駐車場の確保	4.0	0.25			-
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25			-
3 周辺環境への配慮			2.1	0.33			2.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			-
1 騒音			3.0	0.33			-
2 振動			3.0	0.33			-
3 悪臭			3.0	0.33			-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			1.6	0.40			-
1 風害の抑制			1.0	0.70			-
2 砂塵の抑制			-	-			-
3 日照障害の抑制			3.0	0.30			-
3.3 光害の抑制			1.6	0.20			-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に溢れる光への対策			1.0	0.70			-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30			-